



Fellow's Report

令和6年

《7月号》

=ものづくりの仲間から=

令和5年の職場における熱中症発生状況

令和6年5月31日（金）付けで、厚生労働省から、令和5年の「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」が公表されました。令和5年における職場での熱中症による死傷者（死亡・休業4日以上）は、1,106人（前年比279人・34%増）であり、全体の約4割が建設業と製造業で発生しています。

また、熱中症による死亡者数は31人（前年比1人・3.3%増）であり、建設業（12人）や警備業（6人）で多く発生しています。死亡災害には、多くの事例で暑さ指数（WBGT）を把握せず、熱中症予防のための労働衛生教育を行っていませんでした。また、糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病を有している事例も見られました。7月1日～7日は全国安全週間ですので、積極的な労働災害防止活動の実施をお願いします。

【職場における熱中症による死傷者数の状況（令和5年）】

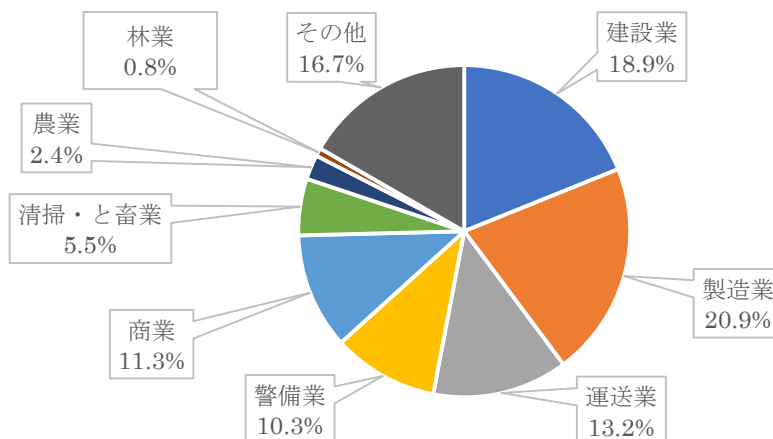
- ① 熱中症の死傷者数をみると、建設業、次いで製造業で多く発生しました
- ② 死亡災害については、建設業が12件と最も多く、次いで警備業が6件発生しました

職場における熱中症による死傷者数の状況（人）

建設業	製造業	運送業	警備業	商業
209 (12)	231 (4)	146 (1)	114 (6)	125 (3)
清掃・と畜業	農業	林業	その他	計
61 (0)	27 (4)	9 (0)	184 (1)	1,106 (31)

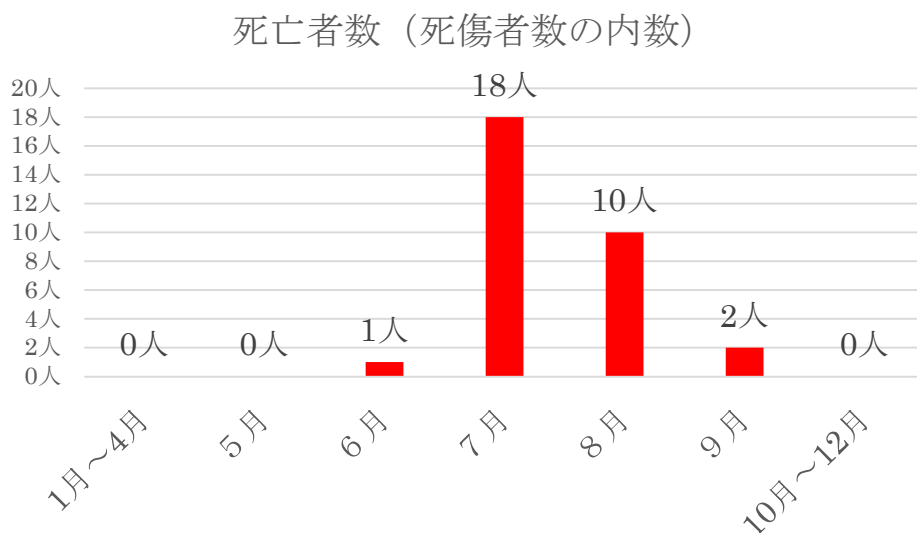
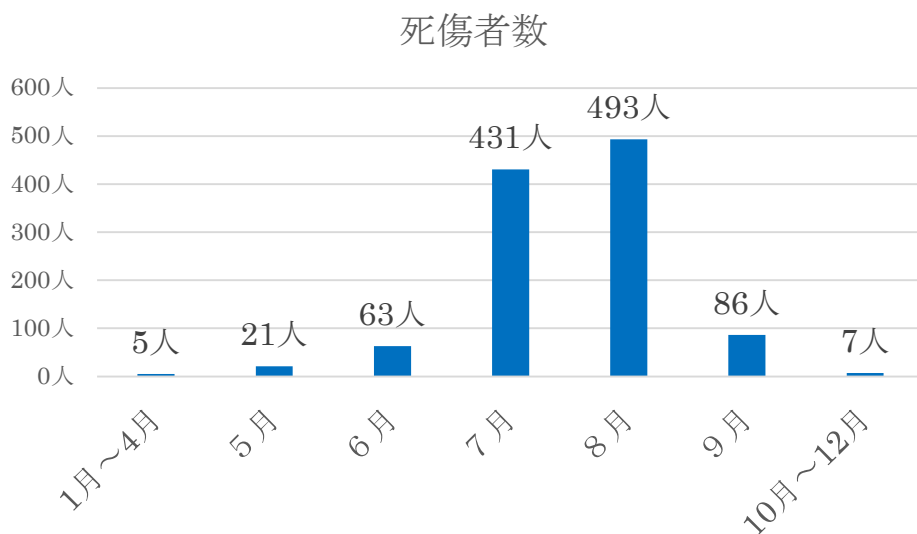
※（ ）内の数値は死亡者数で内数である

熱中症による業種別死傷者数の割合



【月別発生状況（令和5年）】

令和5年の月別熱中症の死傷者数をみると、全体の約9割が7月又は8月に発生していました。死亡者数は7月が最も多く、次いで8月です。



出典根拠：厚生労働省ホームページ

ホーム>報道・広報>報道発表資料>2024年5月>令和5年「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」（確定値）を公表します

[令和5年「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」（確定値）を公表します | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](https://www.mhlw.go.jp)

保全公社でも令和5年8月に**2件**、熱中症を発症したトラブルがありました。

- ① 外壁改修工事で50歳代男性の交通整理員が、手のしびれのような症状でした。
- ② トイレ改修工事で50歳代男性の保温工が、工事用借用トイレ内で熱中症を発症。
トイレ内で嘔吐し水分補給が出来ずに動けなくなった。現場代理人が発見し、救急隊の処置により回復傾向の為、搬送せず休憩所にて療養しました。